

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	2375200652		
法人名	株式会社 福祉の里		
事業所名	グループホーム遊楽苑師勝 1F		
所在地	愛知県北名古屋市熊之庄東出42-1		
自己評価作成日	平成25年11月 5日	評価結果市町村受理日	平成26年2月4日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	福祉総合研究所株式会社		
所在地	愛知県名古屋市東区百人町26番地スクエア百人町1階		
訪問調査日	平成25年12月4日		

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・主治医・ご家族と充分話し合いの場を持ち、連携をとりながら最期の時まで安心して過ごして頂けるケアに取り組んでいる。
 ・報・連・相の徹底によりチーム力のアップに努めている
 ・地域・ご家族との連携と交流に心がけている
 ・利用者様のできること、希望を把握しサポートに努めている

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

車椅子が入れる程の乾燥機が設置され、夏場のダニ対策として有効に活用されている。定期的に布団等の乾燥を行い、快適に休む事ができるよう配慮されている。ホームで強酸性水を作り、日々の掃除に使用し、清潔な環境が維持、感染予防対策に力を入れている。地域の行事に積極的に参加し、よい関係ができています。地域のボランティアの受け入れも行い、開かれたホーム作りに努めている。苑庭でのバーベキュー、地域の子供達によるバルンアートなど利用者に好評な行事が盛りだくさんである。普段の近隣への散歩とは別にいちご狩り、ショッピングセンター、など積極的に外出の機会を設けている。利用者からの具体的な要望を聞き出し、行事等で実現している。職員間の意見交換が活発で報連相を大切にする意識が高い。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項 目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○	1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働けている (参考項目:11,12)	○	1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない				

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー) です。]

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価		
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
I.理念に基づく運営						
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	玄関各ステーションに提示してあり、朝礼時に唱和して共有している	ホーム独自の理念を作り、朝礼時に唱和している。理念を職員が深く理解を深め、利用者一人一人の気持ちを第一に考えるケアの実践に努めている。職員間の報連相を大切にし、情報共有がされている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	町内会に入っており町内の一員として行事など積極的に参加し交流している	町内会に加入し、今年度より回覧板も回るようになった。年2回の組長会に参加し、自治会の行事にも声を掛けてもらっている。地域の盆踊り、秋祭り等の行事にも参加し、ホームと地域の交流を深めている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	苑長がキャラバンメイトであり、苑の代表として啓発活動に参加している			
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月おきに開催し、苑での状況・取り組み等意見交換を行っている。議事録にはスタッフ皆が目を通すようにしサービスの向上に努めている	会議には多数の地域の人、役所職員の参加を得ている。利用者の近況報告、ホームの活動報告を行い、意見をもらっている。今年度は防災に関しての具体的な意見を頂き、ホームとしてより一層の安全対策に力をいれたいと考えている。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	地域ケア会議に出席し実情を報告したり、わからないことなどがあつたらその都度連絡をしている	地域ケア会議、市主催の研修会に、苑長をはじめ職員も積極的に参加するように努めている。対応の難しい利用者に対して、ケアの質の向上を目的とし、役所窓口へ出かけ様々な相談、報告を行っている。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	ミーティング等で学んだり、日頃より拘束については苑長から話しがあり全職員認識して取り組んでいる	利用者一人一人の行動を制限しないようセンサーチャイムを活用し、タンバリン、鈴など音の違いで利用者を識別できるようにする等して、監視ではなく見守りの気持ちを大切にしている。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	リーダー会議にて地域包括の職員の講義を受けミーティングにて全職員へ報告している。虐待を見過ごさないように取り組んでいる			

2/10

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	現在制度を利用されてる方はみえないが、今後学ぶ機会を持ち活用できるように取り組んでいきたい		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	事前の見学・面談において十分に説明したり、改定等の際には書面で家族会等にて説明をしている		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会や面会時に意見要望をお聞きしたり、運営推進会議へ家族代表を選任し意見を聞きながら運営に反映できるように努めている	家族の面会時の会話から要望を聞き取り、迅速に改善、行動するように心がけている。意見が言いやすい雰囲気作りに努めている。利用者との普段の会話や、広告を見ながらの座談会を通して要望を聞き出し、行事、個別ケアに活かしている。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	社員旅行にて職員の意見や提案する機会があり、ことあるごとに苑長と話し合う環境が整っている	法人内の社員旅行、企画を通して現場の意見を社長自らが聞く機会を設けている。職員と苑長の間でなんでも相談しやすい関係が築かれている。職員間の意見交換も活発である。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	それぞれの立場に応じて個別の懇談会があり職員各自が向上心を持って働けるよう環境が整っている		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	勤続年数に応じた社内研修が実施されたり資格取得にもバックアップ体制が充実している		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会へ参加し交流の中より学び、サービスの質の向上に取り組んでいる		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	事前にご本人に面談し、アセスメントを行いその中より不安・要望等の把握に努めている		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前にご本人に面談しアセスメントを行いその中より不安・要望等の把握に努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	アセスメント・コミュニケーションによりご本人・ご家族の必要としていることを見極められるように努めている		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	人生の先輩として常に教えていただくと言う気持ちで接している		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面談の際に、必ず「共に支え合っていくこと」を伝えている。毎月、利用者の担当職員がその月の事柄をカードにしたためご家族に送っている		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	地域密着型ではあるが、これまでの関係の継続は難しい面もある。新しい馴染みづくりの支援に努めている	近隣の喫茶店、スーパーなどと馴染みの関係ができており、利用者の外出の楽しみとなっている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係を把握し、孤立しないよう席の配置など配慮しながら支援に努めている		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退居されても希望に応じ相談にのれるように支援に努めている		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ご家族・ご本人にアセスメントやコミュニケーションをとり、思い・希望等を把握している。ミーティングにて話し合いを行ないその方の意向に沿った支援に努めている	職員は、利用者の希望する生活について考え、話し合いを重ねている。利用者が次の動作に移る際には目線を合わせ、表情を確認しながら言葉をかけている。日々の会話、表情、目で訴える場合もあり、常に観察し、普段と違う所に気付けるように努めている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご家族用のセンター方式であったり、アセスメントにて把握に努めている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	日々の生活の中より過ごし方・心身の状態を記録し、できることなどの把握に努めている		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	利用者一人一人に担当職員を決め、ミーティング時には課題をあげ意見交換しながら、ケアプランに反映し作成している	本人や家族の意向をふまえ介護計画が作成されている。3か月毎に見直しを行い、その際には生活状況を書面にて家族へ報告し意見をもらうようにしている。状態変化時には随時の見直しを行っている。	ホームで安心して暮らしていけるように介護計画が立てられている。本人の思いや意向をふまえ、楽しみや励みになるような目標も組み込んでいけるよう期待する。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	毎日の生活の様子やケア等を客観的に個別記録に記入し、職員間で共有しながら取り組んでいる		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人の状態に応じてご家族と相談をし、ご本人に必要なことを見極めて支援している。訪問リハビリを利用してる方もみえる		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の回想法センターなどを利用している。地域の資源を活用しながら行事に参加し、暮らしを楽しむことができるように努めている		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人・ご家族と話し合いを行い、希望される医療を選択していただく。苑としては受診される時は書面にて状況を報告している。当苑では月2回の往診を実施している	提携医の往診は月2回ある。認知症の専門医等個別でかかる場合には、家族対応を基本とし情報提供を行い、緊急の場合は職員が対応している。眼科は3か月毎、歯科は随時の往診体制をとり、提携医は24時間の支援体制を整えている。	
31		○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	利用者の変化・気づきなど訪問看護師に連絡帳にて伝えたり、急変がある時にはその都度連絡をし、相談・指示を仰いでいる。24時間体制で連携している		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入退院時はサマリーにて情報交換をしたり、お見舞いの際ご家族・病院関係者とコミュニケーションをとり、情報交換している		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時に重度化、終末期のあり方について書面にて説明を行なっている。状態等変化がみられた時には主治医も含め話し合いの場を設け支援に取り組んでいる	本人や家族の希望により看取りを行っている。入居時にホームの方針について説明し、看取りについて考える機会を持ってもらう。状態変化に応じ、主治医から家族へ説明を行い家族や主治医、看護師を含めミーティングを重ね、本人や家族が望む最後が迎えられるように支援している。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	急変時、事故発生時の対応はマニュアル化されている。年に1度は消防署職員を招きAED・心臓蘇生法の訓練を行っている		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	あらゆる場面を想定した避難訓練を定期的実施し、地震に関してはマニュアル化に向け検討している。運営推進会議にて地域との協力体制など話し合いを行っている	年1回消防署の協力を得て防災訓練を行っている。また、2ヶ月毎に火災、地震、夜間、日中等の想定で利用者と一緒に様々な避難訓練を行っており、漏電対策として古い電化製品の交換や1か月毎の点検を行っている。	地域の人々と話し合いを重ね、災害時の具体的な協力体制について確認し、災害時に備えたい。

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	(14)	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	人生の先輩として言葉遣いなど常に苑長より指導を受けており、職員間で気をつけ合い対応している。場面に応じた配慮ある声かけにも気をつけている	苑長は日々の支援の中で言葉が相手に与える影響について話をしており、職員は常に尊敬の念を持ち接する事を心掛けている。利用者へは、「さん付け」を基本とし馴れあいにならないようにしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	行動の前には必ず声かけをし、ご本人の意思を確認している。自己決定できない方も日々の状況より把握し、できるだけ思いに近い状態にて支援できるように努めている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	基本的な1日の生活パターンはあるが、一人一人その方のペース・状態にて生活できるように支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2ヶ月に1回訪問理美容にて整髪されている。また、ご本人の意思にて髪を染めたり希望されればお化粧品などもしていただきおしゃれを楽しめるよう支援している		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	メニュー作成より利用者の方の意見を取り入れたり野菜の処理や盛り付けなどを職員と一緒にしていただいている。、食器拭きも状態に応じ手伝っていただいている	職員は利用者と同じテーブルを囲み会話を楽しみながら食事をしており、利用者の好みを聞いて献立作りに役立てている。食器拭き等は「やろうか」と利用者の方から声をかけてくれる。利用者の状態に応じた支援に努めている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量・水分量など記録により把握しその方の状況に合わせ工夫をしながら支援に努めている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	起床時・毎食後と1日4回口腔ケアを実施しており、義歯の方は週3回つけおき洗浄し状態に合わせた支援に努めている		

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	1人1人記録により排泄パターンを把握し、時間をみながら声かけをしたり、行動パターンをみながら、トイレ誘導をしトイレ内排泄に向けた支援に努めている	トイレで排泄ができるように、利用者個々の排泄状況に合わせての支援に努めている。布パンツを使用している利用者もいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	記録により排便の状態を把握し、起床時の飲み物や温タオルマッサージなどその方の状態に応じた支援に努めている。下剤には頼らない支援に取り組んでいるが、ご本人が希望される場合は看護師と相談して対応している		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている	1日置きの入浴となっているが、その方の希望・状態に応じて入浴できるよう支援している。入浴拒否の方もみえるが職員間で工夫しながらタイミングに合わせ入浴できるよう取り組んでいる	入浴は一日おきとしているが、毎日湯を沸かすので、希望により対応できる。広い浴室はミスト浴も完備しており、ゆず湯等の季節感も大事にしている。拒否が強い利用者には、職員で話し合いタイミングをみながら対応をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中はソファ・テーブル席など好きな場所にてゆっくりと過ごされたり、時には畳み部にて休んでいただくこともできる。夜間帯眠れない時は職員と話をしたり、温かい飲み物など飲んでいただき安心して寝ていただくよう取り組んでいる		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	個人ファイルに処方箋が入れてあり、目的・副作用など理解に努めている。症状等の変化は記録に記入したり、訪問看護師へと連絡し、職員間で情報を共有している		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ご本人・ご家族より聞きとったり・ご家族用センター方式より把握し、介護計画に取り入れながら支援に努めている		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している	散歩・喫茶店と希望に沿って外出している。買物・遠方への外出などは予め計画をしご家族の協力のもと出掛けられるよう支援に努めている	近隣への散歩や買物、個別でモーニング等に出掛けしている。また、外出が難しい時には庭先のベンチでお茶を楽しむ事で気分転換を図れるようにしている。家族と協力しながら外出を楽しめるように支援している。	

自己	外部	項 目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お金は基本的に事務所の管理となっている。希望されれば所持は可能であるが、現在は所持されている方はみえない。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話はご家族への確認の上、ご本人が希望された時には自由にかけることができる。手紙に関しても希望があれば、支援している		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用部には季節の花を飾ったり、温度計を設置し常に温度・湿度に気を配り対応している。夜間帯は通路の明かりが睡眠を妨げないように工夫している	全体的に広々としたホームである。天井が高く日差しが差しこむリビングは、開放感があり、オープンキッチンから食欲をそそる匂いがしてくると自然と会話も弾む。庭先には季節の花が咲き季節感もある。行事毎に飾り付けを行い楽しく過ごせるように工夫している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	畳みのスペースがあったり、異なるソファが設置しておりご本人の希望にて選んでいた。気のあった利用者同士で話ができたり、居室にて過ごしていただけるように工夫している		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家で使用していた家具等をなるべく持参していただけるようにご家族と相談をし、ご本人が安心して過ごせるように支援している	自宅で愛用していたドレッサーやテーブル、椅子、タンス等が持ち込まれ、小物や家族の写真等が飾られている。居心地良く過ごせる居室への配慮がある。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	通路には手すり等を設置したり、風呂・トイレがわかるよう表示をし、安心・安全に過ごせるよう工夫している		

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2375200652
事業所名	グループホーム遊楽苑師勝

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	地域の盆踊り、秋祭りへの参加により地域の方との交流を深めている。盆踊りは唯一の夜間の外出機会となっている。テントの下に利用者用の席を用意していただくなど、地域から温かく接してもらっている。秋祭りに行われる獅子舞は利用者の楽しみな行事となっている。歌謡ショー、マジックショーなど地域のボランティアとの交流も積極的に行っている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	会議では利用者の行事参加の様子、体調の変化など、ホームでの生活の様子、取組み等を報告している。会議には多数の地域の方、役所職員が参加しており、地域との具体的な災害時の連携など意見交換が行われている。いただいた助言に対して迅速に対応するように努めている。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	地域ケア会議や市が主催の研修会に参加して、行政との横のつながりが広がるように努めている。対応の難しい利用者の相談をおこなったりしながら、ホームの現状を報告し、ホーム全体のより良いケアの質の向上に活かしている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	家族が意見を言いやすい雰囲気づくりに努めている。外部評価のアンケートや普段の会話の中からの意見には迅速に対応を行っている。花見と合わせて家族会を開催し、家族が参加しやすいように配慮している。秋には懇談会を開催している。家族同士の談笑、意見交換も行われている。ホーム便りの「遊楽苑通信」が毎月発行されている。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	○	○	○	○	○	

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

（注）要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。